

2026 年 7 月 吉日
一般社団法人 日本遺伝性腫瘍学会
理事長 平田敬治
専門医・HTC/FTC 制度委員会 担当理事
隈元謙介

このたび一般社団法人 日本遺伝性腫瘍学会では、2026 年度「遺伝性腫瘍専門医のための E-learning 講座」を開講致します。本学会は 2017 年の専門医制度導入の後、日本医療研究開発機構 (AMED) 臨床ゲノム情報統合データベース整備事業「ゲノム医療の実装に資する臨床ゲノム情報統合データベースの整備と我が国の継続的なゲノム医療実施体制の構築」(溝上班)の研究開発分担者として、ゲノム医療関連学会との連携による人材育成の一環として 2020 年度より本講座を開講しました。2023 年度からは、本学会の専門医制度小委員会を中心にコンテンツの作成を行い、遺伝性腫瘍専門医の新規取得(受験)や更新の際に受講することを必須としています。

本学会では臨床遺伝学と腫瘍学の両面に適切なバランスをもって精通した人材を育成することを目的として、遺伝性腫瘍セミナーの定期的開催、学術集会での教育セッション、学会機関誌「遺伝性腫瘍」、さらには 2022 年に刊行しました「遺伝性腫瘍専門医テキストブック」「遺伝性腫瘍ケーススタディー100」等を通じ、遺伝性腫瘍に関する最新の知識の習得と適切なマネジメントに関する情報提供等について、鋭意取り組んで参りました。本講座も、遺伝性腫瘍に精通した医師を育成するためのきわめて重要な事業です。

今年度は、基本的な「分子遺伝学の基礎」・「バリエーションの評価」、に加えて「専門医に必要な遺伝カウンセリングの技術」「遺伝性大腸癌 (Lynch 症候群)」・「MEN1 の診断と治療」・「Li-Fraumeni 症候群の概要」について各分野のエキスパートの先生方に講義していただきました。

日本遺伝性腫瘍学会の会員限定ではありますがフルアクセス可能ですので、ぜひ本講座を受講頂き、遺伝性腫瘍に対する診療・マネジメントの向上、遺伝性腫瘍専門医取得のための知識の確認・整理に役立てて頂ければ幸いです。